



那覇市制施行90周年記念

なはし 市民の友

第729号 毎月1回発行
2011年(平成23年)
10月

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2011(平成23)年8月末現在	
総人口	319,589 (2,153)
男	154,202 (1,095)
女	165,387 (1,058)
世帯数	137,987 (1,267)

住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市上之屋1丁目2番1号
☎867-0111 ●印刷 丸正印刷(株)

大津波時の緊急一時避難場所の緊急一時避難場所を設置

3社と緊急避難場所の協定締結

市では、東日本大震災後、市内公共施設への海抜表示など、大津波を想定した新たな防災・災害対策に着手しています。

その中でも、重要な施策として、高層の公共施設はもとより、高層の民間ビルも、大津波時の緊急一時避難場所として利用できるよう調整を進めてきました。

今回、緊急一時避難場所協定を3社と締結し、3か所の緊急一時避難場所が決まりました。

お問い合わせ：市民防災室 ☎861・1102

大津波時の緊急一時避難場所

市では、海抜が低い海岸沿いや、河川沿いの地域で、高台まで距離がある地域を中心に、コンクリート造の建物で、4階建て以上の民間ビルを緊急一時避難場所として提供していただけるよう、協定締結に向けた交渉を行っています。

9月7日(水)には、株式会社サンエー、株式会社タカダ、有限会社新里商会と協定を結び、締結事業者が管理する施設(下記参照)が大津波警報発令時の緊急一時避難場所となりました。

ただし、今回協定を結んだ避難場所は、避難場所となる建物の近くに居住される方、大津波警報時にその近くに居る方が一時的に避難する場所です、大津波警報が発令されたら、今回協定を結んだ避難場所を指すのではなく、現在居る場所から、近くの高い場所に避難することを基本的に考えてください。



協定を結んだ3社の代表者と手を握りあう市長



この看板が目印です!

株式会社サンエーの土地哲誠代表取締役社長は「災害時に被害を最小限に抑えるためには、普段からの備え(避難場所の確保)と心構えが必要。地域のみならず安全に安心して暮らせるよう、これからも行政と協力していきたい。みんなから頼られる施設にしたい」と協定締結への思いを語りました。

今後、協定を締結した建物については、看板(右図)を設置するとともに、市民のみならず皆さまにお知らせしていきます。

緊急一時避難場所

※9月7日現在

- サンエー那覇メインプレイス(5階および屋上駐車場)
- 施設住所：那覇市おもろまち4丁目4番9号
- 収容人数：約36,000人(株サンエー)
- サラダボウル(4階および屋上駐車場)
- 施設住所：那覇市3丁目4番1号
- 収容人数：約400人(株タカダ)
- カクテルプラザ(4階および屋上駐車場)
- 施設住所：那覇市松山1丁目34番3号
- 収容人数：約600人(有)新里商会



緊急一時避難場所の指定にご協力を

大津波時の緊急一時避難場所を募集しています。1981年(昭和56年)6月1日

施行の新耐震設計基準に適合する鉄筋コンクリート造、または鉄骨鉄筋コンクリート構造の4階以上の建物を所有する個人・法人で、緊急一時避難場所の指定にご協力をいただける場合は、市民防災室までご連絡ください。

大津波から市民のみならずの安全を守るために、多くのビルの所有者のご協力をよろしくお願いいたします。

なお、避難場所指定にご協力いただいた場合には、緊急一時避難場所の看板を設置させていただきます。

市内各地の海抜表示

市役所仮庁舎や児童館、公民館などの公共施設や、沖縄都市モノレールの各駅構内、市内の金融機関やコンビニエンスストアなど、併せて約1,000か所に海抜表示を年内に行う予定です。

海抜は、海面からの高さを示しています。お住まいや近隣地域の海抜を把握し、避難経路などの対策にご利用ください。



青い表示は海抜10メートル未満(右)。緑の表示は海抜10メートル以上です(左)。

●9月7日(水)、翁長市長が沖縄電力を訪ね、電信柱への海抜表示について協力を依頼しました。今後、市では、電信柱だけでなく、信号機などへの海抜表示に向けて、精力的に取り組んでいきます。



協働さん



市民・事業者・行政が支え合う協働のまちづくりに取り組む団体、個人を紹介します。

第11回 那覇市協働によるまちづくり推進協議会

お問い合わせ
まちづくり協働推進課
☎861-3846



那覇市協働によるまちづくり推進協議会 会長 銘苅 春雄

第11回は、「那覇市協働によるまちづくり推進協議会」会長の銘苅春雄さんです。

全国初の取り組みとなる当協議会について伺いました。

Q この協議会を設置した目的は

今年で4期目の委嘱になる協働大使は年々増え、協働によるまちづくりの種が着実に市全域に芽吹いていることを感じているところです。しかしながら、様々な分野や地域において活動している協働大使の多くは、拠点ごと活動しているのが現状です。今後、人と人が支えあう、おせっかいなまちづくりを楽しく推進するには、点状にしている協働大使同士が、お互いの立場を理解し、尊重しあいながら連携して、その活動範囲を点から線へ、線から面へ広げることが重要です。そのつながりを強化し協働による住みよい那覇のまちづくりをより確かな形に

潤いのある色々な絆づくり

Q 活動計画は

当面は、今まで委嘱してきた協働大使をまとめていくことです。色々な分野の大使がいいますので、専門部会も発足し、分野毎にまとめて情報交換をしながら、地域活動の中でお互いに改善が必要などところは改善して市民の思いを実現していきたい。色々な人の力を借りて、「なはをおせっかいなまち」にしたい。

これから精力的に地域に出いき、協働のまちづくりにおいて必要だけれど、まだ抜けている分野の協働大使を探していきたいです。現在協働大使は、443人ですが、いずれは約千人の協働大使をと思っています。



協議会設立総会が8月18日に行われました